

## 第1回 宇部市石炭記念館あり方検討委員会 議事録

日時：令和5年2月13日（月）14：00～16：00

場所：ときわ湖水ホール ミーティングルーム

出席者

（委員）

|       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 岡松 道雄 | 内田 鉄平 | 吉武 善幸 | 脇 和也  |
| 古谷 博司 | 柳田 英治 | 藤永 徹也 | 大塚 義雄 |
| 真宅 裕一 | 森重 孝介 | 石津 洋子 | 藤川 修三 |

（宇部市）

|            |       |       |       |
|------------|-------|-------|-------|
| 宇部市副市長     | 藤崎 昌治 |       |       |
| 観光スポーツ文化部長 | 富田 尚彦 | 同部次長  | 白井 幸雄 |
| ときわ公園課長    | 東原 隆  | 同課副課長 | 田戸 亨  |
| 同課管理係長     | 小島健一郎 | 同課主任  | 西岡 優  |
| 同課学芸員      | 廣畑 公紀 |       |       |

欠席者

（委員）

平井 貴大

### 《委嘱状交付式》

#### 1 委嘱状交付

藤崎副市長より出席委員12名に委嘱状交付

#### 2 副市長あいさつ

#### 3 検討委員会委員自己紹介

各委員から座席順に自己紹介

#### 4 事務局職員自己紹介

## 《第1回会議》

### 1 委員長及び副委員長の選出

委員の互選により、会長に脇和也委員、副会長に岡松道雄委員を選出。

### 2 会議

(事務局) これ以降の議事進行につきましては、委員会設置要綱第5条第1項の規定により、委員長が議長になることとなりますので、委員長にお願いいたします。

なお、本日の会議ですが、委員13名中、出席委員が12名で、過半数に達しておりますので、設置要綱第5条第2項の規定により、本会が成立していることを、ご報告申し上げます。

それでは、委員長よろしくお願いいたします。

(委員長) それでは、次第の5の石炭記念館視察に移りたいと思います。  
説明を事務局からお願いします。

(事務局) 石炭記念館視察の行程について説明後、石炭記念館に移動し、現地で施設の概要等の説明を行う。

石炭記念館視察終了後は、ときわ湖水ホールに戻り、議事を再開。

(委員長) 皆様、石炭記念館の視察お疲れ様でした。  
続きまして、次第の6の議題に入ります。宇部市石炭記念館の現状や問題点、他市町村の石炭産業関連博物館施設の現状及び今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料「石炭記念館の現状と課題」に基づき説明を行う。

(委員長) ただいま事務局からご説明いただきましたが、説明について、不明な点やご意見等ございましたらご発言いただきたいと思います。

(委員) 収蔵品の内容と実態として、具体的にどういう物があって、どこで保管されているのでしょうか。

(事務局) 収蔵庫についてご質問がありましたが、石炭記念館には収蔵庫はなく、施設と施設の間にある倉庫や展示カウンターの裏側に並べて保管しており、屋外の軒下で保管してあるものもあります。

本来であれば温湿管理された収蔵庫で大切に保管すべきだが、現状では施設に収蔵庫はありません。

(委 員) 問題点として、所蔵品の点数や資料台帳ができていないのではないかと思います。今後の課題となるのではないかとと思いますがいかがでしょうか。

(事務局) おっしゃるとおり、本来であれば資料台帳が必要となるが、開館当初から題名と個数のみの僅かな情報が記載された台帳があるだけで、今後はきちんと情報が掲載されたカルテを作成する必要があると思います。

(委 員) 文書のような紙類はどちらに収納されているのでしょうか。

(事務局) 2階のガラスケース内に展示してあるものが大半で、一部倉庫に保管しています。

(委 員) 教育普及活動についてですが、小学生に石炭の歴史などを教育されているのでしょうか。

(事務局) 教育普及に関しては、出前講座、社会科見学のガイドと学習プログラムを積極的に行っています。出前講座に関しては、学芸員1名のため、外出が難しい面があります。

学習プログラムや社会科見学では、ときわ公園には他の施設もあるため、他の施設の利用と併せて、石炭記念館に来館いただくことも多数あります。その際に、ふるさとコンパニオンの方にもガイドを協力いただき、教育普及を行っています。

(委 員) コロナ前でも近隣の小学校は定期的に来ていたのでしょうか。

(事務局) コロナ以前も小学校の来館はあり、特にビエンナーレの際には、彫刻教育と併せて、石炭記念館にも来ていただいています。

また、宇部市の小学校で配布される副読本の「ふるさと宇部」にも、石炭に関して記載されていますので、石炭記念館に来られない小学生も学校授業の中で石炭に関して学んでいます。

(委 員) 石炭記念館に学習スペースがない。見学しても学校に戻り、説明を行っているため、館内に学習スペースがあるといいと思う。

(副委員長) 文書の資料はガラスケース内に展示されているとのことだが、建物に

関する資料はどこで保管されているのでしょうか。

(事務局) 建物図面等の資料は、事務所のある湖水ホールにて保管しています。

(副委員長) 石炭記念館は昭和45年に建てられ歴史的な価値があり、近代建築の重要な位置付けになってくる可能性もあることから、将来に向けて長期修繕計画を検討されているのでしょうか。

(事務局) 長期修繕計画について、平成10年に再生委員会で議題にあがっており、耐震化の調査等を実施しておりますが、委員会が休止し、それ以降は長期修繕計画に関する検討は行っておりません。

(副委員長) 今後、この検討委員会において長期修繕計画等についても検討されることになると思いますが、建築の設計が専門となりますが、近代建築の保存に関して、定期的な修繕を行うことが建物の保存に大きく影響しています。

この石炭記念館のやぐらが、あれほどきれいに現存しているのは、皆様が愛情を持って、施設の保存に力を注いでいた賜物だと思います。

今後も、この状態を維持すべく体制整備や予算の確保を行う必要があると思います。

(委員長) 副委員長の質問は、まさにこの委員会の方向性そのものをおっしゃっていると思いますので、後で説明があればよろしくお願いします。

(委員) ソフトの問題点・課題をあげていらっしゃるが、活性化や来館者のニーズに合うように、費用確保や運営を掘り下げて、クラウドファンディングなどを考えていかないといけないのではないかと。

(委員) 宇部市の小学4年生が石炭記念館を社会科見学等で活用しているが、副読本を読み、石炭記念館を見学することで、石炭に関することを学んでいると思います。

ただ、見学も見るだけではなく、体験型の学習スペースがあると、より思いも深まりやすく、来館する学校も増えるのではないかと思います。

(委員) 情報の発信に関して、もう少し工夫をしていただけたらと感じています。この委員会においても、市民公募として5人募集されていましたが、2人しか集まっていない。募集があったことを市民の方はほとんど知らなかった。

自身も市のホームページからやっと見つけた状況でした。

この委員会も知られていないと思われるので、積極的に委員会で行われた事を情報発信していただきたい。

石炭記念館のアンケートも実施されており、良い事をしているが市民に届いていないため、今後は工夫した情報発信を行っていただきたい。

(委員長) ご意見も各方面出尽くしたかと思えます。

これからも委員会で大いに議論を行っていただきたいと思しますので、よろしくお願いします。

それでは、質問は以上で打ち切らせていただきまして、他市の石炭産業関連博物館施設の現状について、事務局からご説明をお願いします。

(事務局) 資料「他市の石炭産業関連博物館施設の現状」に基づき説明を行う。

(委員) 資料に記載されている施設の3分の1は見学に行っています。

運営主体が自治体なのかNPOや公益財団法人なのか、また入場料を有料にするのか無料にするのかという点が今後の検討課題となると思う。

本市石炭記念館も資料は、とてもすばらしい物がそろっているため、他市の施設と比較検討していく必要があると思えます。

(委員) 全国の施設の中で、問題となっているのが、夕張市といわき市である。

いわき市の施設は、震災により、やぐらの一部が崩落。落ちたやぐらの部分は作業用に使用する部材が落下したようで、工事の際にしっかりとした工事がなされていなかったのではとされています。また、その後鉛入りの塗料が使われていた事が分かり、最終的にやぐらを解体することで決定したようです。

夕張市の石炭博物館は、火事となり補修を繰り返し行い、2023年には開館する予定とされ、労力を費やして、施設を存続し続けることは大変なことだと思えます。

(委員) 石炭記念館のあり方とこれからの道筋とありますが、これからの方針がガイド等を行っていてピンとこない。

宇部市として、石炭記念館を過去の遺産として記念すべきものとし、石炭産業そのもののあり方を後世に伝えていこうと考えているのかが分からない。

子どもたちは石炭に関する知識が全くなく、石炭からエネルギー産業まで話を広げて説明してするには、石炭が何に使われるからなど基礎知識がなさすぎると感じる。

日本に4つしかない鉱脈が山口県にはあることなど、本市にとって石

炭の歴史を後世に伝えることの大切さは感じているが、実情から石炭記念館のあり方や方針が見えてこない。

(委員長) 先程のご意見でもありましたが、子どもたちにとって、石炭や二酸化炭素は悪者でしかない。その点も含めて、今後議論していければと思います。

それでは、ご質問は以上とさせていただきます、事務局より「今後の委員会スケジュール」について、ご説明をお願いします。

(事務局) 資料「今後の委員会スケジュール（予定）」に基づき説明を行う。

(委員長) 残す2回の会議で提言書を取りまとめないといけない大変な役目となりますが、皆様からご質問等はございませんでしょうか。

(委員) 本日、石炭記念館で説明いただいた学芸員が、宇部地方史研究会49号に詳しく石炭記念館ができたかという経緯を掲載いただいています。

本日もみなさんにお配りした方が良かったかもしれませんが、次回でもみなさんにお配りできれば良いかと思えます。

(委員) 市民アンケートについて、無作為抽出にて実施するとのことですが、来館者に直接アンケートいただいた方がいいのではないのでしょうか。生の声を聞くことができると思いますが、どうでしょうか。

(事務局) 令和2年にアンケート調査を実施し、対象は来館者としておりました。この度のアンケートは、来館されることがない方も含めたアンケート調査を実施したいと考えており、前回のアンケート結果と異なる傾向も出てくるかと思いますが、その点の比較という意味でも無作為抽出とさせていただきます。

(委員) 前回のアンケート結果も含めて確認することができるのでしょうか。

(事務局) 設問は異なりますが、アンケート結果はご覧いただけるようにします。

(委員) 前回のアンケートでも改修すればどれだけの費用がかかるかなどのケーススタディは行われていますか。

(事務局) 前回アンケートでは、改修を前提としたアンケートになっており、部分改修の費用はお示ししておりますが、あくまでも他の公共事業の単価

から積算したもので、大雑把なものとなっているため、どこまでご参考となるか分かりませんが、傾向ということでご覧いただけたらと思います。

(副委員長) アンケート対象者の抽出するにあたり、市街地と中山間地域では事情が変わってくると思う。どのような地域から抽出したかを把握できるようにしていただき、集計結果から周知する方法が検討できるようにしていただけたらいいと思います。

(事務局) 今回実施予定のアンケートには、岡松副委員長からご指摘いただきました地域属性の項目がありませんので、改善する方向で検討します。

また、今回のアンケート対象ですが、宇部市内の地域からまんべんなく、18歳から79歳未満を対象として抽出します。

(委員長) 他にご意見がないようでしたら、事務局に進行をお返しします。

(事務局) それでは、第2回開催につきましては、3月末を予定しておりますが、改めて日程調整等ご案内いたしますので、委員の皆様、よろしくお願いたします。

本日は、ご多忙の折、ご参加いただきまして、ありがとうございました。